

# アブハズ語の疑問文の形態

柳沢 民雄

名古屋大学大学院国際言語文化研究科

はじめに<sup>1</sup>

アブハズ語は、様々な機能を有する形態素を動詞複合体の中にも含める所謂「複統合的 polysynthesis」な言語であると言われる<sup>2</sup>。我々に馴染みのある印欧諸言語の単文がアブハズ語においては一語で表現され得る場合がある。疑問文もまたアブハズ語においては動詞複合体内の然るべき接辞を用いることによって表現される。本論の目的は、このような動詞複合体内部でのアブハズ語における疑問文の形態法を記述するものである。

## 1. アブハズ語動詞の一般的形態特徴

アブハズ語は、他の北西カフカース諸語<sup>3</sup>と同じく、主体・客体を表す人称マーカーだけでなく、否定、使役、相 version, 可能法 potentialis, 不付随法 unvolitionalis, テンス・アスペクト等の文法範疇を表現するマーカーを動詞内部に接辞化することによってかなり大きな動詞複合体を形成すること

<sup>1</sup> Приносим искреннюю благодарность госпоже Ана Цвинариа, оказавшей мне большую помощь в выяснении отдельных вопросов грамматического строя абхазского языка. 本論で用いたアブハズ語資料は、2000年、2001年、2002年の夏にグルジア共和国で行ったアブハズ語の調査資料に基づいている。この言語調査のインフォーマントはスフミ市南方の町オチャムチラ Ochamchira 生まれの Ana Tsvinaria さんである。彼女はアブハズで生まれ育ち、中等教育を受けた後、モスクワに勉学に行ったという。彼女は、アブジュイ Abzhuy 方言の話者である。この方言はアブハズ文章語の基になった方言であり、スフミ市から南部に拡がっている。本論で用いたアブハズ語の動詞活用形および文例は全てインフォーマントによって確かめられたものである。しかし調査の時間的制約と不十分な資料のために、これは今まで調査した資料ノートを基にしたアブハズ語の疑問の動詞構造の概略であり、中間発表の性格をもつものである。アブハズ語話者の Ana Tsvinaria さんには様々な質問に対する忍耐のいる調査に協力くださり感謝の意を表したい。なお記述の不十分さと不正確さは全て著者に帰せられる。

<sup>2</sup> Климов Г.А. Кавказские языки. - Советское языкознание за 50 лет. М., 1967. с. 319 参照。

<sup>3</sup> 北西カフカース諸語（あるいはアブハズ・アディゲ諸語）に属する言語は、アブハズ語 Abkhaz, アバザ語 Abaza (アバジン語ともいう), アディゲ語 Adyghe, カバルダ語 Kabardian (あるいはカバルジン語) そしてウビフ語 Ubykh である。この内、アブハズ語とアバジン語は一つの言語グループを形成し、他方、アディゲ語とカバルダ語は共通のチェルケス語 Circassian グループを形成する。この両グループの中間に位置するのがウビフ語である。ウビフ人は、1864年にトルコへの移住の後、トルコ語等と急速に同化し、現在ではウビフ語話者は存在しないのではないかと考えられている。これらの北西カフカース諸語は起源的な親縁関係があると仮定されるが、他のカフカース諸語であるカルトヴェリ語やナフ・ダゲスタン諸語との起源的關係は不明である。アブハズ語とアバジン語は、厳密な言語的意味では一つの言語単位を成すが、今日では二つの言語としている。アブハズ語は二つの下位方言、アブジュイ Abzhuy 方言 (スフミ南方) とブジフ Bzyp 方言 (スフミ北方) に分かれ、アバジン語はタバント方言とアシュハル方言に分かれる。アブハズ文章語の基礎になった方言は、アブジュイ方言であり、本論もまたアブジュイ方言の資料を用いている。アブハズ語の話者の数は、全部で9万1千人、アブハズ領内で8万3千人 (1979年調査) である。またトルコやシリア等の外国に約10万人のアブハズ人がいるという。

が可能な言語である<sup>4</sup>。そのような文法範疇を表す接辞の大部分は、アブハズ語においては接頭辞によって表現される。接尾辞によって表現されるものは、動態性、テンス・アスペクト、また一部の場合にみられる否定及び疑問のマーカ―等である。このようにアブハズ語は語根の前に多くの接辞的要素を置く所謂「スロット (slot) 型」言語である<sup>5</sup>。語根の前に置かれた人称・クラスを表す接頭辞を本論では「コラム column」<sup>6</sup>と呼ぶこととするが、アブハズ語はこのコラムの配置順序によって主体・客体関係を決定する。この配置順序は、動詞語根を起点にその動詞の種類（他動性）によってその役割が決まる。即ち、アブハズ語話者が発話されたアブハズ語を理解しようとするときには、線條的に流れる人称マーカ―を語根まで記憶し、語根を確定し、そして語根の種類を認定した後、これを今度は逆方向に向かって語根部分から人称マーカ―の確定に入ると考えられる。例えば、自動詞 á-s-ra “to hit”<sup>7</sup>を使った語形 d-bá-s-we-jt’ (<d-bá-s-wa-jt’)<sup>8</sup> “he / she hits you (f.)” と他動詞 á-ta-ra “to give” を使った語形 d-bá-s-to-jt’ (<d-bá-s-ta-wa-jt’)<sup>9</sup> “I give him / her to you (f.)” において、最初の三つの音は同じであるが、その機能は異なっている。語根は動態標識である -wa- の前にあるものとして確定され得る。従って、前者の語根は -s- であり、これは “to hit” という意味の自動詞語根である。アブハズ語の自動詞は一番目の人称マーカ―は主語であり、二番目のマーカ―は補語である（これを以下ではそれぞれ「コラム1」と「コラム2」と称する。以下では記号 C1, C2 をそれぞれ用いる）。従って、この語形はコラム1の -d-（これは3人称単数の人のクラス）からコラム2の -ba-（これは2人称単数の女性のクラス）に向けられた「打つ」という行為を表している。これに対して、後者の語根は -ta- であり、これは “to give” という意味の他動詞語根である。アブハズ語の他動詞は、自動詞とは逆に動詞語根に近い第三番目の人称マーカ―（これを「コラム3」と称する。以下では記号 C3 を用いる）

<sup>4</sup>これらの文法範疇に関しては、柳沢民雄「アブハズ語動詞構造概説」、『ロシア・ソヴィエト言語類型論の研究』、平成12-平成13年度科学研究費補助金（基盤研究(C)(1)）研究成果報告書、2002。pp.1-128。を参照。

<sup>5</sup>宮岡伯人著『「語」とはなにか エスキモー語から日本語をみる』（三省堂、2002、pp.65-67）参照。この著書の中で宮岡伯人博士は次のように「スロット型言語」について述べておられる：「さて複統合語の性格についていま一つ大切なのは、上にも触れた統合度の上限である。上限が比較的明確な言語もあれば、かならずしもそうでない言語もある。両者は語の性格にも全体としての形態法的な性格にもかなりの違いがある。エスキモー語は後者のタイプだが、前者のタイプの複統合語の記述にはしばしば、語根・語基の前あるいは後ろに前後関係の定まった一定の「スロット (枠slots)」あるいは「ポジション (位置position)」がたてられる。そしてスロットの各々は、パラダイムをなす（派生・屈折）形態素集合から選ばれた一つの形態素で埋められることによって、語全体の形態素連続が定まってくる、つまり語が形成されるという形の記述になる。すなわち語は、その中心である語根・語基の前あるいは後に措定される一定数のスロットを埋める形態素をつなぎあわせて得られた一系的な連続体としてとらえられる。スロットはかならずしもその全部が埋められるわけではなく、ふつう多かれ少なかれ欠番を残す。しかし、ともかくもそのようなスロットがたてられるということは、語内部に生じうる形態素の数、つまり統合度に一定の上限が認められるということであり、あらかじめ語の全体的な結構を予想してかからなければならない窮屈さが語形成にともなうということでもある。このようなスロットがそれぞれにおいて選択された形態素で埋められていく「スロット型」言語は、（連辞的というよりむしろ）範例的、したがって全体としての（広義の）屈折語的だといえるかもしれない。」(ibid., pp.65-66)

<sup>6</sup>「コラム」"column"という術語は、Hewitt に拠る。Hewitt, G. *Abkhaz*. Routledge. 1989. 参照。

<sup>7</sup>“á-s-ra”の形はマスダル masdar と呼ばれる形であり、これはカフカース諸語に見られる名詞と動詞の特徴をもつ文法範疇である。アブハズ語のマスダルは「a+ 語根+ra」の形をしている。状態動詞のマスダルはこの形に継続性を表す -zaa- が挿入されることがある。これは人称変化の際には現れない。このようなマスダルはアブハズ語において辞書の見出し語とされる。本論でも動詞を引用する際にはマスダル形で挙げ、英語の訳は「to不定形」を付すこととする。なお á-s-ra “to hit”の動詞はアブハズ語では自動詞である。これについては註11を参照。

<sup>8</sup>母音 a は j の前で e に変わる。この wa は動態性 (DYN) のマーカ―である。

<sup>9</sup>母音 a は wa と融合し o となる。

が行為者を表し、第一番目の人称マーカ―は他動詞の目的語を表す。第二番目の人称マーカ―はこの動詞の場合には間接目的語を表す。従って、コラム3の -s- (これは1人称単数) がコラム2の -be- (2人称単数の女性のクラス) に向けて、コラム1の -d- (3人称単数の人のクラス) を「与える」という行為を表している。これらの例からわかるようにアブハズ語においては、線條的に配列された形態素の意味は、最初から確定できるのではなく、ある段階に達して初めてその意味を理解することが可能となる。これらの例は最も基本的で単純な例であるが、アブハズ語においては先に触れたように様々な文法範疇を表す接辞が接頭辞化され、さらにこの文法範疇を表す接頭辞にそれを規定する人称・クラスマーカ―が附くという構造を成している。アブハズ語話者はこれらの接頭辞の役割を語根確定まで記憶し、それからそれらの働きを決め、文構造を認識するのであるから、記憶の負担量の観点からも接頭辞 (あるいは人称・クラスの項) の数はある制限された数にならざるを得ない。

アブハズ語の疑問文の形態法を記述するに当たり、動詞形態法に関して次の二つの形を区別しておかなければならない。その第一は、アブハズ語動詞は「状態動詞 stative verbs」と「動態動詞 dynamic verbs」を区別することである。この区別は接尾辞要素の違いによって形態的に区別できる。例えば、状態動態 a-t'wa-ra "to sit" の現在時制肯定形 s-t'ó-wp' (< s-t'á-wp' ) " I am sitting " と動態動詞 á-yw-ra "to run" の現在肯定形 sá-yw-we-jt' (< sá-yw-wa-jt' ) " I run " は、各語根 -t'wa- と -yw- の後の接尾辞要素に違いが見られる。動態動詞の現在形にある -we- (< -wa-) は動態性を表す標識であり、状態動態にはない。第二の動詞形態法上の区別は、定形 finite forms と非定形 non-finite forms の区別である。定形とは動詞そのものによって文を完結できる形であり、それは肯定形の接尾辞 -jt' (動態動詞), -p' (状態動態) によって標示される。他方、非定形はその動詞だけでは文を完結することができない形であり、定形によって表される行為に依存した補充的な行為あるいは状態を表す形である。アブハズ語では様々な状況語的および位置的な接辞を動詞の非定形に挿入することによって、時間、場所、目的、様態、等の関係を表すことができる。例えば、接続詞的な「...のとき」の意味を表す接頭辞 -an- "when" を用いた動態動詞現在形

- (1) d-an-á-px̃o (< d-an-á-px̃a-wa)  
 (s)he (C1)-when-it (C2)-read-DYN  
 "when (s)he is reading , (...)"

は、定形を表す接尾辞 -jt' の欠如した非定形である。同様に、この接頭辞 -an- "when" を用いた状態動詞現在形

- (2) d-aná-cw̃o-w (< d-aná-cwa-w) <sup>10</sup>  
 (s)he (C1)-when-sleep-Non-Fin.  
 "when (s)he is sleeping (...)"

は、定形を表す接尾辞 -p' が欠如した非定形である。これらの非定形は文を完結させるためには他の行為によって補完されねばならず、他の定形の動詞形を必要とする。例えば、

<sup>10</sup>d-aná-cwa-w の w の前にある母音 a は、w の前で o に変わる。

- (3) Lará d-aná-c<sup>w</sup>o-w l-án d-wantó-jt' (< d-wanta-wa-jt').  
 she she (C1)-when-sleep-Non.Fin her-mother she (C1)-iron-DYN-Fin.  
 "When she is sleeping, her mother is ironing."

ここでは定形の d-wantó-jt' によって文が完結している。また非定形は、関係詞を欠いたアプハズ語において、関係代名詞の機能をもつ接頭辞と共に関係詞節をつくることができる。この接頭辞は、人称接頭辞のコラム1の機能に対応する j- と人称接頭辞のコラム2, 3に対応する -z- がある（この関係代名詞的機能を有する接頭辞の文法的な表記として、以下では記号 Rel. (= Relative) で標示する）。コラム1は自動詞の主語と他動詞の直接目的語の機能を果たすのであるから、この j- も関係詞節内では同様の機能を果たす。例えば、自動詞 a-ca-rá "to go" と他動詞 a-y<sup>w</sup>-rá "to write" を用いた例を参照：

- (4) jə-có (< jə-ca-wa ) á-č'k'<sup>w</sup>n  
 Rel. (C1)-go-DYN the-boy  
 " the boy who is going "
- (5) jə-zə-y<sup>w</sup>-wa a-š<sup>w</sup>q'<sup>w</sup>ś  
 Rel. (C1)-I (C3)-write-DYN the-book  
 " the book which I am writing "

他方、コラム3は他動詞の行為者の機能を、コラム2は間接目的語の機能を果たすのであるから、-z- もまた関係節内ではこれら二つの機能を果たす。例えば、他動詞 a-ta-rá "to give" を用いたコラム3の例(6)とコラム2の例(7)を参照：

- (6) a-š<sup>w</sup>q'<sup>w</sup>ś [j]-sə-z-ta-z á-č'k'<sup>w</sup>n  
 the-book [it](C1)-to me (C2)-Rel. (C3)-give-Non-fin.Past.Ind. the-boy  
 " the boy who gave me the book "
- (7) a-š<sup>w</sup>q'<sup>w</sup>ś [j]-zə-l-tá-z á-č'k'<sup>w</sup>n  
 the-book [it](C1)-Rel. (C2)-she (C3)-give-Non-fin.Past.Ind. the-boy  
 " the boy to whom she gave the book "

なお上の例(6), (7)の人称・クラスを表すコラム1の接頭辞 j- は、その直前にそれと呼応する名詞があるときにはその接頭辞が顕れない。以下ではそのような場合には [ ] あるいはゼロ記号  $\emptyset$  によってそれを標示することにする。

この非定形はまた本論で記述する疑問文においても用いられる動詞形である。後に詳しく検討するようにアプハズ語の疑問文は、動詞の非定形語幹に疑問の接尾辞を附加して形成される。例えば、上に挙げた動態動詞 a-px<sup>w</sup>a-ra "to read" を用いた疑問形

- (8) a-š<sup>w</sup>q'<sup>w</sup>ś j-á-px<sup>w</sup>a-ra ? (< j-á-px<sup>w</sup>a-wa-da)  
 the-book Rel. (C1)-it (C2)-read-DYN-Qu.(who)  
 " who is reading the book ?"

は、非定形語幹に人を表す疑問接尾辞 *-da* が附加されている。このアブハズ語の「読む」という動詞は自動詞であるので、接頭辞はコラム1（主語）とコラム2（補語）の順に配置されている<sup>11</sup>。このコラム2の接頭辞 *-a-* は名詞 *a-šwq'wə* (the-book) に呼応する3人称単数の人以外のクラスを表すマーカであり、コラム1の接頭辞 *j-* は関係詞の役割をする接頭辞である。即ち、文字通りにこの動詞形を解釈すれば、"(one) who-it-read-who?", lit. "who is one who is reading it?" となり、疑問文が動詞の非定形を用いる理由の一端が理解できるかと思われる。

## 2. アブハズ語の人称・クラス接頭辞

アブハズ語の人称・クラス接頭辞は以下のようである。

### Column 1（他動詞の直接目的語，自動詞の主語）

人称	単数	複数
1	s(ə)-	h(a)-
2（男性）	w(ə)-	šw(ə)-
2（女性）	b(ə)-	šw(ə)-
3（人間）	d(ə)-	j(ə)- / ∅-
3（人間以外）	j(ə)- / ∅-	j(ə)- / ∅-

### Column 2（間接補語，間接目的語）

1	s(ə)-	ha- / ah-
2（男性）	w(ə)-	šw(ə)-
2（女性）	b(ə)-	šw(ə)-
3（人間・男）	j(ə)-	r(ə)- / d(ə)-
3（人間・女）	l(ə)-	r(ə)- / d(ə)-
3（人間以外）	a- / ∅-	r(ə)- / d(ə)-

### Column 3（他動詞の行為者）

1	s(ə)- / z-	ha- / ah- / aa-
2（男性）	w(ə)-	šw(ə)- / žw-
2（女性）	b(ə)-	šw(ə)- / žw-
3（人間・男）	j(ə)-	r(ə)- / d(ə)-
3（人間・女）	l(ə)-	r(ə)- / d(ə)-
3（人間以外）	a- / na-	r(ə)- / d(ə)-

括弧内のシュアəは一般にアクセントと子音連続（三子音連続を避けるために三子音の内の最初の

<sup>11</sup> 「能格」言語と言われるアブハズ語の他動性の語彙特徴は、対格言語の他動性の語彙特徴とは若干異なっている。「読む」、「打つ」、「叩く」、「突く」、「掴む」、「引っ張る」、「つねる」、「引っ掻く」、「接吻する」、「舐める」、「噛む」、「頼む」、「呼ぶ」等は自動詞である。詳しくは、Климов, Г. А. *Принципы континентальной типологии*. Москва. 1983, с. 95-97. また柳沢民雄「アブハズ語動詞構造概説」pp. 24-30. を参照。

子音の後ろにシュアが顕れる) に係わって出現する<sup>12</sup>。コラム3の1人称と2人称の有声音のヴァリエント z-, aa-, žw- は、語根の頭子音が有声音のときに現れる。例えば, a-ba-rá " to see " のコラム3が1人称単数の形を参照：

- (9) bə-z-bé-jt' (<\*bə-s-bá-jt' )  
you (f.)(C1)-I (C3)-see-(AOR)  
" I saw you ".

このヴァリエントはコラム3にのみ起こる現象であるので、これが他動詞にのみ生じ、自動詞には生じないことに注意されたい。またコラム2とコラム3の3人称複数のヴァリエント d(ə) は、使役マーカ― r(ə) が現れるとき (あるいは使役派生した語幹のとき) 現れる。例えば、

- (9-1) d-də-rə-yw-we-jt' (<\*d-rə-rə-yw-wa-jt' )  
him/her (C1)-they (C3)-CAUS-run-DYN-Fin.  
" they make him / her run "

またアブハズ語の動詞には、preverb (以下これを PREV によって記す) と呼ばれる副詞的要素が語根前に置かれることがある。この際、他動詞のコラム3の人称接頭辞は preverb と語根との間に配置される。しかし自動詞においてはコラム2の人称接頭辞が preverb と語根との間に配置されることはない。例えば、他動詞 a-ná-ca-ra " to drive thither " と自動詞 á-x<sup>w</sup>a-pš<sup>ə</sup>-ra " to look at " のアオリスト形を参照：

- (10) j-ná-l-ce-jt' (<j-ná-l-ca-ø-jt' )  
it / them (C1)-PREV(thither)-she (C3)-drive-(AOR)-Fin.  
" she drove it / them thither "

- (11) s-bə-x<sup>w</sup>a-pš<sup>ə</sup>-ø-jt'  
I (C1)-you (f.) (C2)-PREV(at)-look-(AOR)-Fin.  
" I looked at you "

アブハズ語の否定マーカ― m(ə) は、アオリスト、完了、不定過去、過去完了の時制形において語根前に置かれる。その他の現在、未来、未完了の時制形ではこの否定マーカ―は接尾辞要素として置かれる。上で挙げた自動詞 á-x<sup>w</sup>a-pš<sup>ə</sup>-ra "to look at" のアオリスト否定形と現在否定形を参照：

- (12) s-bə-x<sup>w</sup>a-m-pš<sup>ə</sup>-ø-jt'  
I (C1)-you (f.) (C2)-PREV(at)-NEG-look-(AOR)-Fin.  
" I didn't look at you "

- (13) s-bə-x<sup>w</sup>a-pš<sup>ə</sup>-wa-m  
I (C1)-you (f.) (C2)-PREV(at)-look-DYN-NEG

<sup>12</sup>アブハズ語のシュア ə に関して詳しくは、柳沢民雄「アブハズ語動詞構造概説」 pp. 7-8. を参照。またアクセントは語形成において移動する。アクセントについても ibid. pp. 9-10. を参照。

" I don't look at you "

他動詞も同様に、アオリスト等の時制における否定マーカーは語根前に置かれ、その前にコラム3の人称接頭辞が置かれる。上で挙げた他動詞 a-ná-ca-ra "to drive thither" のアオリスト否定形を参照：

- (14) j-ná-lə-m-ce-jt' (<j-ná-lə-m-ca-ø-jt')  
 it / them (C1)-PREV(thither)-she (C3)-NEG-drive-(AOR)-Fin.  
 " she didn't drive it / them thither "

### 3. 動詞の非定形

上述したようにアブハズ語の疑問文は、非定形語幹から形成される。この非定形語幹のテンス・アスペクトと法の形は以下ようになる。例えば、コラム1に関係詞を表す接頭辞 j(ə)- をもつ状態動詞 a-góla-ra " to stand " の形：

#### 状態動態

	肯定形	否定形
現在	j-gólo-w (<j-góla-w) Rel. (C1)-be standing-Non.Fin. "one who is standing"	j-góla-m Rel.-be standing-NEG "one who is not standing"
過去	j-góla-z Rel.-be standing-Past. Non. Fin. "one who was standing"	j-góla-mə-z Rel.-be standing-NEG-Past. Non. Fin. "one who was not standing"

コラム1に関係詞 j(ə)- をもつ動態動詞 a-y<sup>w</sup>-rá " to write " の形：

	肯定形	否定形
<u>動態動詞クラス1</u>		
現在	já-l-y <sup>w</sup> -wa Rel. (C1)-she (C3)-write-DYN "that which she writes"	já-l-m-y <sup>w</sup> -wa Rel.-she-NEG-write-DYN "that which she doesn't write"
アオリスト	já-l-y <sup>w</sup> ə-ø Rel.-she-write-(AOR) "that which she wrote"	já-l-m-y <sup>w</sup> ə-ø Rel.-she-NEG-write-(AOR) "that which didn't write"
未来1	já-l-y <sup>w</sup> -ra / -rə Rel.-she-write-Fut.1.Non.Fin. "that which she will write in that case"	já-l-m-y <sup>w</sup> -ra / -rə Rel.-she-NEG-write-Fut.1.Non.Fin. "that which she won't write in that case"
未来2	já-l-y <sup>w</sup> ə-š <sup>3</sup> a Rel.-she-write-Fut.2.Non.Fin. "that which she may probably write"	já-l-m-y <sup>w</sup> ə-š <sup>3</sup> a Rel.-she-NEG-write-Fut.2.Non.Fin. "that which she may not probably write"
完了	já-lə-y <sup>w</sup> -x̃o-w (<já-lə-y <sup>w</sup> -x̃a-w) Rel.-she-write-Pefect-Non.Fin. "that she has written"	já-l-mə-y <sup>w</sup> -x̃o-w (<já-l-mə-y <sup>w</sup> -x̃a-w) Rel.-she-NEG-write-Pefect-Non.Fin. "that she has not written"

or      jǎ-lǎ-y<sup>w</sup>-x̃a(c)                      jǎ-l-mǎ-y<sup>w</sup>-x̃a(c)

動態動詞クラス 2

未完了	jǎ-l-y <sup>w</sup> -wa-z Rel.-she-write-DYN-Class 2. "that which she was writing"	jǎ-l-mǎ-y <sup>w</sup> -wa-z Rel.-she-NEG-write-DYN-Class 2. "that which she was not writing"
不定過去	jǎ-l-y <sup>w</sup> ǎ-ø-z Rel.-she-write-AOR-Class 2. "that which she wrote and ..."	jǎ-l-mǎ-y <sup>w</sup> ǎ-ø-z Rel.-she-NEG-write-AOR-Class 2. "that which she didn't write and ..."
条件法 1	jǎ-l-y <sup>w</sup> -rǎ-z Rel.-she-write-Cond 1.-Class 2. "that which she would write in that case"	jǎ-l-mǎ-y <sup>w</sup> -rǎ-z Rel.-she-NEG-write-Cond 1.-Class 2. "that which she would not write in that case"
条件法 2	jǎ-l-y <sup>w</sup> ǎ-š <sup>o</sup> a-z Rel.-she-write-Cond 2.-Class 2. "that which she might write"	jǎ-l-mǎ-y <sup>w</sup> ǎ-š <sup>o</sup> a-z Rel.-she-NEG-write-Cond 2.-Class 2. "that which she might not write"
過去完了	jǎ-lǎ-y <sup>w</sup> -x̃a-z Rel.-she-write-Perf.-Class 2. "that she had written"	jǎ-l-mǎ-y <sup>w</sup> -x̃a-z Rel.-she-NEG-write-Perf.-Class 2. "that she had not written"

ここで動態動詞を二つのクラス 1 とクラス 2 に分けているが、これは疑問文の所で触れるように形態法上の違いが認められるためである。上の例から分かるように動態動詞クラス 2 の語形は全て末尾要素 -z によって語が終わっている（これを以下 Class 2. と称する）。これは、例えば、疑問文の語形成においても変わらず、クラス 2 の時制と法の疑問文は全て末尾にある z の要素の前に疑問の接辞が置かれるのである。

コラム 2, コラム 3 に関係詞を表す接頭辞 z(ǎ) がある場合も接尾辞要素は上の例と変わることはない。一例としてしばしば見られる、コラム 3 に関係詞を表す接頭辞 z(ǎ) をもつ現在形の肯定形と否定形は次のようである：

	肯定形	否定形
現在	jǎ-z-y <sup>w</sup> -wa it / them (C1)-Rel. (C3)-write-DYN "one who writes it / them"	jǎ-zǎ-m-y <sup>w</sup> -wa it / them (C1)-Rel. (C3)-NEG-write-DYN "one who doesn't write it / them"

語根が母音 a で終わっている場合には、直接に接触する動態性マーカー wa との融合の結果として o となる。これは現在形と未完了にのみ生ずる。その他の形は上の例と同じである。例えば、a-ba-rá "to see" のコラム 1 に関係詞を表す接頭辞 j(ǎ)- をもつ例を参照：

	肯定形	否定形
現在	jǎ-l-bo (< jǎ-l-ba-wa) Rel. (C1)-she (C3)-see-DYN "that which she sees"	jǎ-lǎ-m-bo (< jǎ-lǎ-m-ba-wa) Rel. (C1)-she (C3)-NEG-see-DYN "that which she doesn't see"

未完了      jǎ-l-bo-z (< jǎ-l-ba-wa-z)  
 Rel.-she-see-DYN-Class 2.  
 "that which she was seeing"

jǎ-lə-m-bo-z (< jǎ-lə-m-ba-wa-z)  
 Rel.-she-NEG-see-DYN-Class 2.  
 "that which she was not seeing"

#### 4. 疑問文の形態

##### 4-1. "who?" 疑問文の形態

「誰が」, 「誰を」, 「誰に」等の人のクラスの疑問形は, 疑問の接尾辞 da を非定形語幹に附加することによって形成される. da を附加する際に, 状態動詞の非定形・肯定形と動態動詞の完了形の語幹末にある -w は欠如する. また動態動詞クラス2においては, 疑問の接尾辞 da は -z (Class 2) の前に置かれる. 人称・クラス接頭辞は, 疑問とする人称・クラスの接頭辞に相当する関係詞接頭辞によって表示される. 即ち, 自動詞の主語(「誰が?」), あるいは他動詞の目的語(「誰を?」)を疑問とする場合には, コラム1に接頭辞 j(ə)- を置く. 他動詞の行為者(「誰が?」), あるいは間接目的語(「誰に?」)を疑問とする場合には, コラム3あるいはコラム2に接頭辞 z(ə) を置く. 次の例を参照:

a) コラム1に接頭辞 j(ə) を置く例:

##### 自動詞の主語 (状態動詞 a-góla-ra "to stand")

	肯定形	否定形
現在	j-góla-da ? Rel.(C1)-be standing-Qu. "who is standing ?"	j-góla-m-da ? Rel.-be standing-NEG-Qu. "who is not standing ?"
過去	j-góla-da-z ? Rel.-be standing-Qu.-Past "who was standing ?"	jə-m-góla-da-z ? Rel.-NEG-be standing-Qu.-Past "who was not standing ?"

##### 自動詞の主語 (動態動詞 á-px̃-a-ra "to read")

	肯定形	否定形
現在	j-á-px̃-o-da ? (< j-á-px̃-a-wa-da) Rel.(C1)-it (C2)-read-DYN-Qu. "who is reading it ?"	j-a-mé-px̃-o-da ? (< j-a-mé-px̃-a-wa-da) Rel.-it-NEG-read-DYN-Qu. "who is not reading it ?"
アオリスト	j-á-px̃-a-da ? (< j-á-px̃-a-φ-da) Rel.-it-read-(AOR)-Qu. "who read it ?"	j-a-mé-px̃-a-da ? (< j-a-mé-px̃-a-φ-da) Rel.-it-NEG-read-(AOR)-Qu. "who didn't read it ?"
未来1	j-a-px̃-a-ré-da ? Rel.-it-read-Fut.1-Qu. "who will read it in that case?"	j-a-mé-px̃-a-ré-da ? Rel.-it-NEG-read-Fut.1-Qu. "who won't read it in that case?"
完了	j-á-px̃-a-x̃-a-da ? Rel.-it-read-Perf.-Qu. "who has read it ?"	j-a-mé-px̃-a-ax̃-a-da ? Rel.-it-NEG-read-Perf.-Qu. "who has not read it ?"
未完了	j-á-px̃-o-da-z ? (< j-á-px̃-a-wa-da-z)	j-a-mé-px̃-o-da-z ? (< j-a-mé-px̃-a-wa-da-z)

	Rel.-it-read-DYN-Qu.-Class 2.	Rel.-it-NEG-read-DYN-Qu.-Class 2.
	"who was reading it ? "	"who was not reading it ? "
条件法 1	j-a-px̃a-ré-da-z ?	j-a-mé-px̃a-rə-da-z ?
	Rel.-it-read-Cond.1-Qu.-Class 2.	Rel.-it-NEG-read-Cond.1-Qu.-Class 2.
	"who would read it in that case ?"	"who would not read it in that case ?"
過去完了	j-á-px̃a-x̃a-da-z ?	j-a-mé-px̃a-ax̃a-da-z ?
	Rel.-it-read-Perf.-Qu.-Class 2.	Rel.-it-NEG-read-Perf.-Qu.-Class 2.
	"who had read it ?"	"who had not read it ? "

他動詞の目的語 (動態動詞 a-dér-ra "to know")

	肯定形	否定形
現在	jǎ-l-dər-wa-da ?	jə-l-zǎ-m-dər-wa-da ? <sup>13</sup>
	Rel.(C1)-she (C3)-know-DYN-Qu.	Rel.(C1)-her(C2)-POTEN-NEG-know-DYN-Qu.
	"whom does she know ? "	"whom doesn't she know ? "
アオリスト	jǎ-l-dər-da ? (< jǎ-l-dər-ø-da )	jə-l-zǎ-m-dər-da ? (< jə-l-zǎ-m-dər-ø-da )
	Rel.(C1)-she (C3)-know-(AOR)-Qu.	Rel. (C1)-her (C2)-POTEN-NEG-know-(AOR)-Qu.
	"whom did she get to know ? "	"whom didn't she get to know ? "
未完了	jǎ-l-dər-wa-da-z ?	jə-l-zǎ-m-dər-wa-da-z ?
	Rel.(C1)-she (C3)-know-DYN-Qu.-Class 2.	Rel. (C1)-her (C2)-POTEN-NEG-know-DYN-Qu.-Cl. 2.
	"whom did she know ? "	"whom didn't she know ? "

b) コラム 2 に接頭辞 z (ə) を置く例 :

状態動詞の間接補語 (á-ma-zaa-ra "to be, to have") <sup>14</sup>

	肯定形	否定形
現在	jə-z-má-da ?	jə-z-má-m-da ?
	it (C1)-Rel. (C2)-be / have-Qu.	it (C1)-Rel. (C2)-be / have-NEG-Qu.
	"who has it ? " "y кого есть то ? "	"who doesn't have it ? " "y кого нет того "
過去	jə-z-má-da-z ?	jə-z-má-m-da-z ?
	it (C1)-Rel. (C2)-be / have-Qu.-Class 2.	it (C1)-Rel. (C2)-be / have-NEG-Qu.-Class 2.
	"who had it ? " "y кого было то ? "	"who didn't have it ? " "y кого не было того "

動態自動詞の間接補語 (a-cxóraa-ra "to help")

肯定形

<sup>13</sup> a-dér-ra "to know" の否定形は「可能法 Potentialis (= POTEN)」を使う。可能法とは北西カフカーズ諸語やカルトヴェリ語に見られる文法範疇であり、一般に行為の遂行が随意的に不可能なことを表す。この可能法を用いた文は倒置構造をしており、その動詞は自動詞である。詳しくは、柳沢民雄「アブハズ語動詞構造概説」pp. 95-103. を参照。

<sup>14</sup> á-ma-zaa-ra "to be, to have" は倒置動詞 *inversive verbs* である。倒置動詞とは形態論的には自動詞であるが、統語・意味論的には他動詞と見なされる、一群の、自動詞と他動詞との中間的な動詞である。これに含まれる動詞には「感覚動詞 *verba sentiendi*」, 「情緒動詞 *verba affectuum*」, 「所有動詞 *verba habendi*」がある。倒置動詞についての詳細は、「アブハズ語動詞構造概説」pp.89-95 を参照。

現在 b-zá-cxraa-wa-da ?  
 you (f.)(C1)-Rel. (C2)-help-DYN-Qu.  
 "whom do you help ? "

アオリスト b-zá-cxraa-da ? (< b-zá-cxraa-ø-da)  
 you (f.)-Rel.-help-(AOR)-Qu.  
 "whom did you help ? "

動態他動詞の間接目的語 (á-ta-ra "to give")

肯定形	否定形
現在 j-zə-b-tó-da ? (< j-zə-b-tá-wa-da) it (C1)-Rel.(C2)-you (f.) (C3)-give-DYN-Qu. "to whom do you (f.) give it ? "	jə-z-bə-m-tó-da ? (< jə-zə-bə-m-tá-wa-da) it (C1)-Rel.(C2)-you (f.) (C3)-NEG-give-DYN-Qu. "to whom don't you (f.) give it ? "
アオリスト j-zə-b-tá-da ? (< j-zə-b-tá-ø-da) it (C1)-Rel.(C2)-you (f.) (C3)-give-(AOR)-Qu. "to whom did you (f.) give it ? "	jə-z-bə-m-tá-da ? (< jə-z-bə-m-tá-ø-da) it (C1)-Rel.(C2)-you (f.) (C3)-NEG-give-(AOR)-Qu. "to whom didn't you (f.) give it ? "

客体相 objective version (OV) に現れるコラム 2 の例 (a-y<sup>w</sup>-rá "to write")<sup>15</sup>

肯定形	否定形
アオリスト jə-z-zá-b-y <sup>w</sup> ə-da ? it (C1)-Rel. (C2)-OV-you (f.)(C3)-write-Qu. "to whom did you (f.) write it ? "	jə-z-zá-bə-m-y <sup>w</sup> ə-da ? it-Rel.-OV-you (f.)-write-Qu. "to whom didn't you (f.) write it ? "

接頭辞 c "with" とともに現れるコラム 2 の例 (á-təj-ra "to sell")

肯定形  
 現在 jə-z-cé +b-təj-wa-da ?  
 it (C1)-Rel. (C2)+with-you (f.) (C3)-sell-DYN-Qu.  
 "with whom are you (F) selling it ? "

c) コラム 3 に接頭辞 z (ə) を置く例 :

動態他動詞の行為者 (á-q'a-c'a-ra "to do", "to make")

肯定形	否定形
現在 j-q'a-z-c'ó-da ? (< j-q'a-z-c'á-wa-da) it (C1)-PREV-Rel. (C3)-do-DYN-Qu. "who is doing it ? "	j-q'a-zə-m-c'ó-da ? (< j-q'a-zə-m-c'á-wa-da) it (C1)-PREV-Rel. (C3)-NEG-do-DYN-Qu. "who is not doing it ? "
アオリスト j-q'a-z-c'á-da ? (< j-q'a-z-c'á-ø-da) it (C1)-PREV-Rel. (C3)-do-(AOR)-Qu. "who did it ? "	j-q'a-zə-m-c'á-da ? (< j-q'a-zə-m-c'á-ø-da) it (C1)-PREV-Rel. (C3)-NEG-do-(AOR)-Qu. "who didn't do it ? "

<sup>15</sup>ここで使われている客体相 objective version は、「書く」という動詞の間接目的語を表現するために用いられる。この客体相マーカーとそれに前置する人称・クラスを表す項によって、「誰々に(書く)」が表現される(以下の例文(20),(21)も参照)。多くの動詞の与格的な機能はこの客体相によって表現される(例外は、この客体相を使わない「与える」という意味の動詞 á-ta-ra である)。客体相に関しては、柳沢民雄「アプハズ語動詞構造概説」pp.53-59.を参照。

未完了	j-q'a-z-c'ó-da-z ? (<j-q'a-z-c'á-wa-da-z) j-q'a-zə-m-c'ó-da-z ? (<j-q'a-zə-m-c'á-wa-da-z)	it -PREV-Rel.-do-DYN-Qu.-Class 2.	it -PREV-Rel.-NEG-do-DYN-Qu.-Class 2.
	"who was doing it ? "		"who was not doing it ? "
過去完了	j-q'a-z-c'a-x'á-da-z ?	it-PREV-Rel.-do-Perf.-Qu.-Class 2.	it-PREV-Rel.-NEG-do-Perf.-Qu.-Class 2.
	"who has done it ? "		"who has not done it ? "
文例 :	Jə-w-zə-q'a-z-c'o-da (<Jə-w-zə-q'a-z-c'a-wa-da)	wará	á-fat'w ?
	it (C1)-you (m.) (C2)-OV-PREV-Rel. (C3)-make-DYN-Qu.	you (m.)	the-food
	"Who is making a meal for your sake."		

#### 使役形における行為者 (á-təj-ra "to sell")

肯定形

アオリスト	jə-s-zə-r-təj-da ? (<jə-s-zə-r-təj-ø-da)
	it (C1)-me (C2)-Rel. (C3)-CAUS-sell-(AOR)-Qu.
	"who made me sell it ? "

#### 4-1-1. 独立代名詞の疑問文

アプハズ語は、上で記述した疑問の接尾辞を動詞複合体内に含める疑問形の他に、疑問の独立代名詞 *dárban* "who" を用いた疑問文も可能である。この場合、動詞形は非定形語幹を用い、動詞接頭辞は相応する関係詞を表す接頭辞 *j(ə)* あるいは *z(ə)* を用いる。例えば、状態動詞 *a-t'wá-rá* "to sit" の現在形と過去形を参照（括弧内は動詞複合形に疑問の接頭辞がある形）：

	肯定形
現在	<i>dárban aráq'a j-t'wá-w ? (&lt;j-t'wá-w)</i> (cf. <i>aráq'a j-t'wá-da ?</i> )
	who here Rel.-sit-Non.Fin.
	" who is sitting here ? "
過去	<i>dárban aráq'a j-t'wá-z ?</i> (cf. <i>aráq'a j-t'wá-da-z ?</i> )
	who here Rel.-sit-Past. Non. Fin.
	" who was sitting here ? "

また他動詞 *a-p-q'a-rá* "to fell" を用いた例を参照：

	肯定形
アオリスト	<i>dárban arəj á-c'la ø-pə-z-q'a-ø ?</i> (cf. <i>arəj á-c'la ø-pə-z-q'a-da ?</i> )
	who this the-tree (it) (C1)-PREV-Rel. (C3)-fell-(AOR)
	"who felled this tree ? "

さらに "who am I ? ", "who are you ? " 等の表現は次のようである：

<i>sará</i>	<i>sə-zəwsto-w ? / sə-zəwsta-da ?</i>	"who am I ? "
<i>wará</i>	<i>wə-zəwsto-w ? / wə-zəwsta-da ?</i>	"who are you (m.) ? "

bará	bə-zəwsto-w ? / bə-zəwsta-da ?	"who are you (f.) ?"
lará	də-zəwsto-w ? / də-zəwsta-da ?	"who is she ?"
jará	də-zəwsto-w ? / də-zəwsta-da ?	"who is he ?"
hará	ha-zəwsto-w ? / ha-zəwsta-da ?	"who are we ?"
š <sup>w</sup> ará	š <sup>w</sup> ə-zəwsto-w ? / š <sup>w</sup> ə-zəwsta-da ?	"who are you (pl.) ?"
dará	ø-zəwsto-w ? / ø-zəwsta-da ?	"who are they ?"

また疑問代名詞を用いて次のように表すこともできる：

sará	s-zak <sup>w</sup> əze-j ?
I	I-who-Qu.
	" who am I ? "

#### 4-1-2. "whose?" の疑問文の形態

「誰の whose?」の意味の疑問文は、状態動詞 a-t<sup>w</sup>ə-zaa-ra "to belong to" の非定形と人を表す疑問の接尾辞 -da によってつくることができる。この動詞 a-t<sup>w</sup>ə-zaa-ra は自動詞であり、動詞は主語としてのコラム 1 と間接補語としてのコラム 2 を要求し、平叙文は次のようである：

- (15) Aráj a-š<sup>w</sup>q<sup>w</sup>ə sará jə-s-t<sup>w</sup>ə-wp<sup>w</sup>.  
 this the-book I it (C1)-me (C2)-belong to-STAT.PRES.  
 " This book belongs to me. ( This book is mine. ) "

従って、「誰の」という疑問文は、コラム 2 に関係詞接頭辞 -z(ə)- を置き、接尾辞 -da を用いた上述の疑問文と同じ構造になる。次の例を参照（現在形では -da の前で非定形の語幹末の -w が欠如することに注意。4-1参照）：

- (16) Aráj a-š<sup>w</sup>q<sup>w</sup>ə ø-z-t<sup>w</sup>ə-da ?  
 this the-book (it)-Rel.-belong to-Qu.  
 lit. " To whom this book belongs ? " (= " Whose book is this ? ")

- (17) b-zə-px<sup>ó</sup> a-š<sup>w</sup>q<sup>w</sup>ə ø-z-t<sup>w</sup>ə-da ?  
 you (f.)-Rel.-read-DYN.Non.Fin. the-book (it)-Rel.-belong to-Qu.  
 lit. " To whom does the book, which you are reading, belong ? "  
 (= " Whose book are you reading ? ")

#### 4-2. "what?" 疑問文の形態

「何が」、 「何を」等の人以外のクラスを表す疑問形は、非定形語幹によって形成される。動態動詞クラス 1 と状態動態現在形は、この非定形語幹に疑問の接尾辞 -j あるいは -zej を附加することによって形成される。なお我々のインフォーマントに拠れば、接尾辞が附加する際に、完了形と状態動態現在形の末尾の -w は消失する場合があるが、その場合にその直前にある母音 a は o に替わる。他方、動態動詞クラス 2 と状態動態過去形は、疑問の接尾辞を附加しない非定形から形成される。人称・クラス接頭辞は、上述した「誰が」等の疑問文と同様に、疑問とする人称・クラス接頭辞に相当する

関係詞接頭辞 j(ə) (C1) あるいは z(ə) (C2, C3) によって標示される。以下の例を参照：

a) コラム 1 に接頭辞 j (ə) を置く例：

1 項自動詞の主語 (状態動態 a-góla-ra "to stand")

	肯定形	否定形
現在	j-gólo-j ? (< *j-góla-wə-j ) Rel.(C1)-be standing-Non.Fin.-Qu. "what is standing ?"	j-góla-mə-j ? Rel.-be standing-NEG-Qu. "what is not standing ?"
過去	j-góla-z ? Rel.-be standing-Past.Non.Fin. "what was standing ?"	j-góla-mə-z ? Rel.-be standing-NEG-Past.Non.Fin. "what was not standing ?"

2 項自動詞の主語 (状態動態 á-ma-zaa-ra "to be, to have")

	肯定形	否定形
現在	j-bó-mo-w-zej (< j-bó-ma-w-zej ) Rel. (C1)-you (f.) (C2)-have-Non.Fin.-Qu. "what do you have ? "	j-bó-ma-m-zej Rel.-you (f.)-have-NEG-Qu. "what don't you have ? "
過去	j-bó-ma-z ? / j-bó-ma-zə-z ? Rel.-you (f.)-have-Past.Non.Fin. / Rel.-you (f.)-have-Qu.-Past.Non.Fin. "what did you have ? "	j-bó-ma-m-zə-z ? Rel.-you (f.)-have-NEG-Qu.-Past.Non.Fin. "what didn't you have ? "

b) コラム 2 に接頭辞 z (ə) を置く例：

動態自動詞の間接目的語 ( á-px̃-a-ra "to read")

動態動詞クラス 1

	肯定形	否定形
現在	d-zə-px̃-ó-j / -zej ? (< d-zə-px̃-á-wa-j / -zej ) (s)he (C1)-Rel. (C2)-read-DYN-Qu. " what does (s)he read ? "	də-z-mó-px̃-o-j / -zej ? (s)he (C1)-Rel. (C2)-NEG-read-DYN-Qu. " what doesn't (s)he read ? "
アオリスト	d-zə-px̃-é-j / d-zə-px̃-á-zej ? (< d-zə-px̃-á-ø-j / -zej ) (s)he-Rel.-read-(AOR)-Qu. " what did (s)he read ? "	də-z-mó-px̃-e-j / -px̃-a-zej ? (s)he -Rel.-NEG-read-(AOR)-Qu. " what didn't (s)he read ? "
未来 2	d-zə-px̃-á-š̃-e-j / -š̃-a-zej ? (s)he-Rel.-read-Fut. 2-Qu. " what may (s)he read ? "	də-z-mó-px̃-a-š̃-e-j / -š̃-a-zej ? (s)he-Rel.-NEG-read-Fut. 2-Qu. " what may not (s)he read ? "
完了	d-zə-px̃-a-x̃-ó-j / -zej ? (< d-zə-px̃-a-x̃-á-w-j / -zej )	də-z-mó-px̃-a-x̃-o-j ?

(s)he-Rel.-read-Perf.-Qu.  
" what has (s)he read ? "

(s)he -Rel.-NEG-read-Perf.-Qu.  
" what hasn't (s)he read ? "

動態動詞クラス 2

肯定形  
未完了 d-zə-px̃'ó-z ? (< d-zə-px̃'á-wa-z )  
(s)he-Rel.-read-DYN-Class 2.  
" what was (s)he reading ? "

否定形  
də-z-má-px̃'o-z ?  
(s)he -Rel.-NEG-read-DYN-Class 2.  
" what wasn't (s)he reading ? "

動態他動詞の直接目的語 ( á-q'a-c'a-ra "to do, to make")

動態動詞クラス 1

肯定形  
現在 já-q'a-l-c'o-j ? (< já-q'a-l-c'a-wa-j )  
Rel. (C1)-PREV-she (C3)-do-DYN-Qu.  
" what does she do ? "

否定形  
já-q'a-lə-m-c'o-j ? (< já-q'a-lə-m-c'o-j )  
Rel.-PREV-she-NEG-do-DYN-Qu.  
" what doesn't she do ? "

アオリスト já-q'a-l-c'e-j ? (< já-q'a-l-c'a-ø-j )  
or já-q'a-l-c'a-zej ?  
Rel.-PREV-she-do-(AOR)-Qu.  
" what did she do ? "

já-q'a-lə-m-c'e-j ? (< já-q'a-lə-m-c'a-ø-j )  
já-q'a-lə-m-c'a-zej ?  
Rel.-PREV-she-NEG-do-(AOR)-Qu.  
" what didn't she do ? "

動態動詞クラス 2

肯定形  
未完了 já-q'a-l-c'o-z ? (< já-q'a-l-c'a-wa-z )  
Rel.-PREV-she-do-DYN-Class.2.  
" what was she doing ? "

否定形  
já-q'a-lə-m-c'o-z ? (< já-q'a-lə-m-c'a-wa-z )  
Rel.-PREV-she-NEG-do-DYN-Class.2.  
" what wasn't she doing ? "

上記の動詞複合体内に接尾辞を附加する方法の他に、独立疑問代名詞 járban "what ?" を用いる方法もアプハズ語にはある。これは4-1で述べた dárban "who?" の場合と同様に、動詞は非定形を用いる。例えば、状態動詞 a-góla-ra "to stand" の現在形と過去形、及び他動詞 á-q'a-c'a-ra "to do, to make" のアオリスト形を参照（括弧内は動詞複合体内に疑問の接頭辞がある形）：

	肯定形	
現在	járban j-gólo-w ? (< j-góla-w ) what Rel. (C1)-be standing-Non.Fin. " what is standing ? "	( cf. j-gólo-j ? )
過去	járban j-góla-z ? what Rel.-be standing-Past.Non.Fin. " what was standing ? "	( cf. j-góla-z ? )
アオリスト	járban já-q'a-l-c'a-ø ? what Rel. (C1)-PREV-she (C3)-do-(AOR)	( cf. já-q'a-l-c'e-j ? )

" what did she do ? "

さらに "what is this ?" の表現は疑問代名詞を用いて次のように表現できる :

arəj zak'wə-j ? / zak'ə-z(e)j ?  
this what-Qu.

#### 4-3. "yes-no" 疑問文の形態

アブハズ語の "yes-no" 疑問文は、肯定疑問と否定疑問ではその形成に用いられる接尾辞が異なる。肯定疑問文は、非定形語幹の末尾に疑問の接尾辞 -ma (稀に -w も) を附加してつくられる。この疑問文のイントネーションは動詞形の部分において下降調を特徴とする。例えば, Aš'q'wə bómowma ? "Do you have the book ?" は、以下のようなイントネーションを特徴とする。

Aš'q'wə bómowma ?

動態動詞クラス2においても -z (Class 2) の後ろに -ma を附加する (4-1の -da- との違いを参照)。これに対して、否定疑問文は、非定形語幹の末尾に接尾辞 -j あるいは -za-j を附加してつくられる。否定の疑問文のイントネーションは、肯定疑問文ほど急激な下降調を特徴をしていないようである。例えば, Aš'q'wə bómazaməj ? "Don't you have the book ?" のイントネーションは以下ようになり、肯定疑問文ほど急激な声の下降はみられない。

Aš'q'wə bómazaməj ?

動態動詞の現在形と動態動詞クラス2 (状態動詞の過去もまた) の形では -j は省略することが可能である。動詞の人称・クラス接頭辞は各人称・クラスに相応する接頭辞をとる。以下の例を参照 :

#### 状態動態 (á-ma-zaa-ra "to be, to have")

	肯定形	否定形
現在	j-bə-mo-w-ma ? (< j-bə-ma-w-ma) it-you (f.)-have-Non.Fin.-Qu. " do you have it ? "	j-bə-ma-za-mə-j ? it-you (f.)-have-EMPH-NEG-Qu. " don't you have it ? "
過去	j-bə-ma-z-ma ? it-you (f.)-have-Past.Non.Fin.-Qu. " did you have it ? "	j-bə-ma-za-m-z ? it-you (f.)-have-EMPH-NEG-Past.Non.Fin. " didn't you have it ? "

#### 2項動態動詞 (a-dər-ra "to know" )

	肯定形	否定形
動態動詞クラス1		
現在	sə-l-dər-wa-ma ? me (C1)-she (C3)-know-DYN-Qu. " does she know me ? "	sə-l-zə-m-dər-ʒo ? (< sə-l-zə-m-dər-ʒa-wa) I (C1)-her (C2)-POTEN-NEG-know-EMPH-DYN " doesn't she know me ? "

アオリスト sə-l-dér-ø-ma ?                      sə-l-zá-m-dér-ø-3e-j ? (< sə-l-zá-m-dér-ø-3a-j )  
 me (C1)-she (C3)-know-(AOR)-Qu.    I (C1)-her (C2)-POTEN-NEG-know-(AOR)-EMPH-Qu.  
 " did she get to know me ? "            " didn't she get to know me ? "

未来1            sə-l-dér-rə-w ? <sup>16</sup>  
 me-she-know-Fut.1-Qu.  
 " will she know me in that case ? "

#### 動態動詞クラス2

未完了            sə-l-dér-wa-z-ma ?                      sə-l-zá-m-dér-3o-z ? (< sə-l-zá-m-dér-3a-wa-z)  
 me-she-know-DYN-Class 2.-Qu.    I-her-POTEN-NEG-know-EMPH-DYN-Class 2.  
 " did she know me ? "                      " didn't she know me ? "

3 項他動詞 á-ta-ra "to give" を例にして "yes-no" 疑問文の文例を挙げる (時制はアオリスト) :

(18)    J-sá-l-ta-ø-ma                                      a-šwq'wá ?  
 it (C1)-to me (C2)-she (C3)-give-(AOR)-Qu.    the-book  
 " Did she give me the book ? "

(19)    J-sá-lə-m-ta-ø-3e-j (< J-sá-lə-m-ta-ø-3a-j )                      a-šwq'wá ?  
 it-to me-she-NEG-give-(AOR)-EMPH-Qu.                      the-book  
 " Didn't she give me the book ? "

また2 項他動詞 a-yw-rá "to write" に客体相 objective version を含んだ"yes-no" 疑問文の文例は次のようである :

(20)    Jə-s-zá-b-yw-ø-ma                                      a-šwq'wá ?  
 it (C1)-me (C2)-OV-you (f.)(C3)-write-(AOR)-Qu.    the-letter  
 " Did you (f.) write the letter to me ? "

(21)    Jə-s-zá-b-mə-yw-ø-3e-j                                      a-šwq'wá ?  
 it-me-OV-you (f.)-write-(AOR)-EMPH-Qu.                      the-letter  
 " Didn't you (f.) write the letter to me ? "

#### 4-4. "where ?", "when ?", "why ?", "how ?", "whence ?" の疑問文の形態

「どこに(へ)」、「何時」、「何故」、「如何に」、「どこから」等の副詞の意味を表す疑問文は、それぞれの疑問の接頭辞を動詞複合体のコラム1の直後に挿入し、動詞語幹を非定形にすることにより形成される。接尾辞は疑問の副詞の接頭辞によって若干の変異をみせるが、それも接尾辞 -j を附加するかしないかの変異であり、概ねアオリストと未来形では -j を附加することが好まれるよ

<sup>16</sup>インフォーマントに拠れば、この未来1の否定形は現在時制の否定形と同形である。

うである。動詞の人称・クラス接頭辞は平叙文の配置に従う。

#### 4-4-1. "where?" の疑問文

「どこで・に(場所)」あるいは「どこへ(方向)」の疑問の接頭辞は、どちらも同じく -aba- であり、コラム1の直後に置かれる。動詞語幹は非定形語幹を用いるが、動態動詞クラス1は完了形を除いて、接尾辞に -j を附加することもまた可能である。インフォーマントに抛れば、アオリストと未来形ではこの接尾辞 -j を附加することが好まれるようである。動態動詞クラス2では非定形の他に、接尾辞 -z (Class 2) の直前に -zə- を挿入するヴァリエントも可能という。状態動詞は非定形のままである。

##### 状態動態 (a-gəla-ra "to stand")

	肯定形	否定形
現在	d-abá-gəlo-w ? (< d-abá-gəla-w) (s)he (C1)-where-stand-Non.Fin. " where is (s)he standing ? "	d-abá-gəla-m (s)he-where-stand-NEG " where isn't (s)he standing ? "
過去	d-abá-gəla-z ? (s)he-where-stand-Past.Non.Fin. " where was (s)he standing ? "	d-abá-gəla-mə-z ? (s)he-where-stand-NEG-Past.Non.Fin. " where wasn't (s)he standing ? "

なお疑問の接頭辞 -aba- がコラム1とコラム2の間に置かれることは、次の2項状態動詞 á-ma-zaa-ra "to be, to have" の過去の例から分かる：

(22)	j-abá-bə-ma-z it (C1)-where-you (f.)(C2)-have-Past.Non.Fin. " where did you have the book ? " lit. " где у тебя была книга ? "	a-šwq'wə ? the-book
------	--	------------------------

##### 1項動態動詞 (a-ca-rá "to go")

	肯定形	否定形
現在	b-abá-co-(j) ? (< b-abá-ca-wa-(j)) you (f.) (C1)-where-go-DYN-(Qu.) " where do you (f.) go ? "	b-abá-m-co-(j) ? (< -ca-wa-(j)) you (f.)-where-NEG-go-DYN-(Qu.) " where don't you (f.) go ? "
アオリスト	b-abá-ce-j ? (< b-abá-ca-ø-j) or b-abá-ca-ø ? you (f.)-where-go-(AOR)-Qu. " where did you (f.) go ? "	b-abá-m-ca-ø ? you (f.)-where-NEG-go-(AOR) " where didn't you (f.) go ? "
完了	b-abá-ca-x̄o-w ? (< b-abá-ca-x̄a-w)	

you (f.)-where-go-Perfect-Non.Fin.  
" where have you (f.) gone ? "

## 2 項動態他動詞 (á-təj-ra "to sell")

肯定形

現在 j-abá-l-təj-we-j ? (< j-abá-l-təj-wa-j )  
it (C1)-where-she (C3)-sell-DYN-Qu.  
" where does she sell it ? "

アオリスト j-abá-l-təj-ø ? (< \*j-abá-l-təj-ø-j )  
it-where-she-sell-(AOR)-(Qu.)  
" where did she sell it ? "

動態動詞クラス 2

未完了 j-abá-l-təj-wa-z ?  
it-where-she-sell-DYN-Class 2.  
" where was she selling it ? "

2 項他動詞 a-w-rá " to do " と a-h<sup>w</sup>a-rá "to say" を用いた疑問文の例を参照 :

- (23) W-an a-wés ø-abá-l-w-e-j ? (< \*ø-abá-l-w-wa-j )  
your-mother the-work (it)-where-she-work-DYN-Qu  
" Where is your mother working ? "
- (24) A-c'ára-k<sup>w</sup>a á-š<sup>w</sup>a ø-abá-r-h<sup>w</sup>o ? (< ø-abá-r-h<sup>w</sup>a-wa )  
the-bird-PL the-song it-where-they-say-DYN  
" Where are the birds singing a song ? "

### 4-4-2. "when ?" の疑問文の形態

「いつ」の疑問文は、疑問の接頭辞 -anba- を動詞複合体のコラム 1 の直後に置き、動態動詞クラス 1 では非定形あるいは非定形 + j (アオリストと未来形では後者の形が好ましい) によって形成される。動態動詞クラス 2 と状態動詞に関しては、上で述べた "where ?" の疑問文と同じ語幹をとる。即ち、動態動詞クラス 2 では非定形の他に、接尾辞 -z (Class 2) の直前に -zə- を挿入するヴァリエーションも可能であり、状態動詞は非定形のままである。

## 状態動詞 (á-q'a-zaa-ra "to be")

肯定形

現在 j-anbá-q'o-w ? (< j-anbá-q'a-w )  
it (C1)-when-be-Non.Fin.  
" when is it ? "

過去 j-anbá-q'a-z



母音 a は o に替わる（なお完了形には接尾辞 -j のヴァリエントしかない）。他方、動態動詞クラス 2 と状態動態過去形には、接尾辞を附加しない。

状態動態 (a-gála-ra "to stand")

	肯定形	否定形
現在	bə-z-gálo-j ? (< bə-z-gála-w-j ) you (f.) (C1)-why-be standing-DYN-Qu. " why are you (f.) standing ? "	bə-z-gála-mə-j ? you (f.)-why-be standing-NEG-Qu. " why aren't you (f.) standing ? "
過去	bə-z-gála-z ? you (f.)-why-be standing-Past.Non.Fin. " why were you (f.) standing ? "	bə-z-gála-mə-z ? you (f.)-why-be standing-NEG-Past.Non.Fin. " why weren't you (f.) standing ? "

動態自動詞 (á-px̃-a-ra "to read")

	肯定形	否定形
現在	d-z-á-px̃-o-j ? (< d-z-á-px̃-a-wa-j ) (s)he (C1)-why-it (C2)-read-DYN-Qu. " why does (s)he read it ? "	d-z-a-má-px̃-o-j ? (< d-z-a-má-px̃-a-wa-j ) (s)he-why-it-NEG-read-DYN-Qu. " why doesn't (s)he read it ? "
アオリスト	d-z-á-px̃-e-ø-j ? (< d-z-á-px̃-a-ø-j ) (s)he (C1)-why-it (C2)-read-(AOR)-Qu. " why did (s)he read it ? "	d-z-a-má-px̃-e-ø-j ? (< d-z-a-má-px̃-a-ø-j ) (s)he-why-it-NEG-read-(AOR)-Qu. " why didn't (s)he read it ? "

動態他動詞 (á-q'a-c'a-ra "to do, to make")

	肯定形	否定形
現在	j-zá-q'a-l-c'o-j ? (< j-zá-q'a-l-c'a-wa-j ) it (C1)-why-PREV-she (C3)-do-DYN-Qu. " why does she do it ? "	j-zá-q'a-lə-m-c'o-j ? (< j-zá-q'a-lə-m-c'a-wa-j ) it-why-PREV-she-NEG-do-DYN-Qu. " why doesn't she do it ? "
アオリスト	j-zá-q'a-l-c'e-j ? (< j-zá-q'a-l-c'a-ø-j ) it-why-PREV-she-do-(AOR)-Qu. " why did she do it ? "	j-zá-q'a-lə-m-c'e-j ? (< j-zá-q'a-lə-m-c'a-ø-j ) it-why-PREV-she-NEG-do-(AOR)-Qu. " why didn't she do it ? "

接尾辞 -j と -zej は交替可能である。状態動詞 á-ma-zaa-ra "to have" と動態動詞 áá-j-ra "to come" の現在形とアオリスト形の疑問文を参照：

- (27) Jə-z-bá-mo-j (<\*Jə-z-bá-ma-w-j) / Jə-z-bá-mo-w-zej (<\*Jə-z-bá-ma-w-zej)      a-šwq'wá ?  
it (C1)-why-you (f.)(C2)-have-Non.Fin.-Qu.      the-book  
" why do you (f.) have the book ? "

(28) d-z-aá-j ? (< \*d-z-aá-j-ø-j ) / d-z-aá-j-zej ? (< d-z-aá-j-ø-zej )  
 (s)he-why-PREV-come-(AOR)-(Qu.)  
 " why did (s)he come here ? "

(29) Məwrát            jaX`á    d-zó-m-aa-j ? / d-zó-m-aa-j-zej ?  
 Murat            today    he-why-NEG-PREV-come-(AOR)-(Qu.)  
 " Why didn't Murat come here today ? "

#### 4-4-4. " how ? " の疑問文の形態

「どの様に」を表す疑問文は次の方法によって形成される：疑問の接頭辞 -s°pa- を動詞複合体のコラム1の接頭辞の直後に置き，動態動詞クラス1では「非定形 + j」を，また動態動詞クラス2と状態動詞では非定形を動詞語幹とする。これは4-4-2の所で述べた“when?”の疑問文の形成と類似している。おそらく“how?”の疑問文でも動態動詞クラス1ではヴァリエントとして接尾辞 -j のない形も可能かと思われるが，今回は調査ができなかった。インフォーマントは接頭辞 -j のある形を使っている（動態動詞現在形を参照）。

#### 状態動態 (a-góla-ra "to stand")

	肯定形	否定形
現在	də-š°pá-gəlo-w ? (< də-š°pá-gəla-w) (s)he (C1)-how-be standing-Non.Fin. “ how is (s)he standing ? “	də-š°pá-gəla-m ? (s)he-how-be standing-NEG “ how isn't (s)he standing ? “
過去	də-š°pá-gəla-z ? (s)he-how-be standing-Past.Non.Fin. “ how was (s)he standing ? “	də-š°pá-gəla-mə-z ? (s)he-how-be standing-NEG-Past.Non.Fin. “ how wasn't (s)he standing ? “

#### 2項動態他動詞 (á-təj-ra "to sell")

	肯定形	否定形
動態動詞クラス1		
現在	jə-š°pá-l-təj-we-j ? (< jə-š°pá-l-təj-wa-j) it (C1)-how-she (C3)-sell-DYN-Qu. “ how does she sell it ? “	jə-š°pá-lə-m-təj-we-j ? (< jə-š°pá-lə-m-təj-wa-j) it-how-she-NEG-sell-DYN-Qu. “ how doesn't she sell it ? “
アオリスト	jə-š°pá-l-təj ? (< *jə-š°pá-l-təj-ø-j ) it-how-she-sell-(AOR)-(Qu.) “ how did she sell it ? “	ə-š°pá-lə-m-təj ? (< * jə-š°pá-lə-m-təj-ø-j ) it-how-she-NEG-sell-(AOR)-(Qu.) “ how didn't she sell it ? “
動態動詞クラス2		
未完了	jə-š°pá-l-təj-wa-z ? it-how-she-sell-DYN-Class 2.	jə-š°pá-lə-m-təj-wa-z ? it-how-she-NEG-sell-DYN-Class 2.

“ how was she selling it ? ”

“ how wasn't she selling it ? ”

### 3 項動態他動詞 (á-ta-ra "to give" )

#### 肯定形

現在 A-š<sup>w</sup>q'wó      ø-š<sup>o</sup>pá-lə-s-to-j ? (< jə-š<sup>o</sup>pá-lə-s-ta-wa-j )  
the-book      (it)(C1)-how-to her (C2)-I (C3)-give-DYN-Qu.  
“ How do I give her the book ? ”

アオリスト A-š<sup>w</sup>q'wó      ø-š<sup>o</sup>pá-lə-s-te-j ? (< jə-š<sup>o</sup>pá-lə-s-ta-ø-j )  
the-book      (it)-how-to her-I-give-(AOR)-Qu.  
“ How did I give her the book ? ”

未完了 A-š<sup>w</sup>q'wó      ø-š<sup>o</sup>pá-lə-s-to-z ? (< jə-š<sup>o</sup>pá-lə-s-ta-wa-z )  
the-book      (it)-how-to her-I-give-DYN-Class 2.  
“ How was I giving her the book ? ”

過去完了 A-š<sup>w</sup>q'wó      ø-š<sup>o</sup>pá-lə-s-ta-x̄-a-z ? (< jə-š<sup>o</sup>pá-lə-s-ta-x̄-a-z )  
the-book      (it)-how-to her-I-give-Perf.-Class 2.  
“ How had I given her the book ? ”

主体相 subjective version を用いる動詞 a-x-ga-rá “to spend (the time)” においても疑問の接頭辞 -š<sup>o</sup>pa- はコラム 1 の直後に置かれる<sup>17</sup>。その動詞（アオリスト形）を用いた平叙文(30)と疑問文(31)を参照：

(30) Á-mš<sup>o</sup>      ø-s-xá-z-ge-jt'. (< \*jə-s-xá-s-ga-ø-jt' )  
the-day      (it)(C1)-my (POSS)-SV (self)-I (C3)-take-(AOR)-Fin.  
“ I spent the day.”

(31) Á-mš<sup>o</sup>      ø-š<sup>o</sup>po-w-xá-w-ge-j ? (< \*jə-š<sup>o</sup>pa-w-xá-w-ga-ø-j )  
the-day      (it)-how-your (m.)-SV (self)-you (m.)-take-(AOR)-Qu.  
“ How did you spend the day ? ”

Preverb を有する動詞もまた疑問の接頭辞はコラム 1 の直後に置かれる（例は, á-q'a-c'a-ra "to do, to make"）：

(32) Jə-š<sup>o</sup>pá-q'a-b-c'e-j (< Jə-š<sup>o</sup>pá-q'a-b-c'a-ø-j )      arəj ?  
it (C1)-how-PREV-you (f.)(C3)-do-(AOR)-Qu.      this  
“ How did you (f.) do this ? ”

#### 4-4-5. その他の疑問文の形態

<sup>17</sup> 主体相 subjective version については、柳沢民雄「アプハズ語動詞構造概説」 pp. 61-64. を参照。

「どこから whence ?」を表す疑問文は、接頭辞 -aba=nt'wəj- "where=from ?" をコラム 1 の直後に置き、動態動詞クラス 1 の語幹には接尾辞 j を附加する。aa-rá "to come" の現在形とアオリスト形, a-dár-ra "to know" のアオリスト形を参照 :

- (33) d-abá=nt'w-áa-we-j ?  
 (s)he-where=from-come-DYN-Qu.  
 " where is (s)he coming from ? "
- (34) b-abá=nt'wəj                      áa-φ-j ?  
 you (f.)-where=from              come-(AOR)-Qu.  
 " where did you (f.) come ? "
- (35) s-abá=ntnt'wəj-l-dárə-φ-j ?  
 me (C1)-where=from-she (C3)-know-(AOR)-Qu.  
 " откуда она узнала меня ? "

インフォーマントに拠れば例 (34) は 2 語に分離され、両方の語形に接尾辞 -j が附加されている。

「幾つ how many ?」, 「どの程度 how much ?」を表す疑問文は、疑問詞 š'aq'á あるいは zaq'a をコラム 1 の直後に置く。疑問詞が修飾する名詞の数は、「名詞 + š'aq'á」の語順のとき名詞の複数形が<sup>18</sup>, 「š'aq'á + 名詞」の場合には単数形が用いられる傾向がある。動詞形は、疑問詞が修飾する名詞が人のクラスの場合には接尾辞 -da を、人以外のクラスの場合には接尾辞 -j (-zej) をとる。動詞の語幹の形は非定形であり、接尾辞の附加に関しては "who ?" 疑問文 (-da 附加) と "what ?" 疑問文 (-j (-zej) 附加) の場合と同様である。疑問詞が修飾する名詞が人以外のクラスと人のクラス (疑問詞に人のクラスを表す接尾辞 -y<sup>w</sup> が附加する) の状態動詞 á-ma-zaa-ra "to have" と a-psa-rá "to cost" を用いた例を参照 :

- (36) š'aq'á                      c'w-a-φ                      φ-wá-mo-j ? (<j-wá-ma-wə-j )  
 how many                      apple-sg.                      it (C1)-you (m.)(C2)-have-Non.Fin.-Qu.  
 or a-c'w-a-q'wá                      š'aq'á                      φ-wá-mo-j ?  
 the-apple-pl.                      how many                      it-you (m.)-have-Non.Fin.-Qu.  
 " how many apples do you (m.) have ? "
- (37) W-árma      šap'á                      š'aq'á                      šac<sup>w</sup>k<sup>~</sup>əs                      φ-a-mó-w-zej ? (<j-a-má-w-zej )  
 your-left      foot                      how many      toe(s)                      (them)(C1)-(it)(C2)-have-Non.Fin.-Qu.  
 lit. " How many toes does your left foot have ? "
- (38) a-x<sup>w</sup>č'-k<sup>w</sup>a                      š'aq'á-y<sup>w</sup>                      φ-wá-ma-da ?  
 the-child-pl.                      how many-human Class                      (them)(C1)-you (m.)(C2)-have-Qu.  
 " how many children do you (m.) have ? "

<sup>18</sup>アプハズ語の名詞の数は、名詞の後ろに数を表すマーカの附加によって標示される。複数マーカは、人のクラスのマーカ -c<sup>w</sup>a と、動物あるいは物である人以外のクラスを表すマーカ -k<sup>w</sup>a である。単数はゼロ標示である。

- (39) š<sup>h</sup>aq'á            j-a-psó-w-zej (< j-a-psó-w-zej)            abráj    a-c'k'és            y<sup>w</sup>éjž  
 how much            it(C1)-its (POSS / C2)-cost-DYN-Qu.    this    the-dress            yellow  
 " How much is this yellow dress ? "

動態自動詞 a-góla-ra "to get up" を用いた例を参照：

- (40) wará    ášəž            a-saát            š<sup>h</sup>aq'a    r-zá    w-gólo-j ? (< w-góla-wa-j )  
 you    morning            the-o'clock            how    them-at you (m.)(C1)-get up-DYN-Qu.  
 " What time do you (m.) get up in the morning ? "

#### 4-5. 間接疑問文の形態

上述した疑問文は全て直接疑問文である。アプハズ語はまた間接疑問文もあり、その形成方法は直接疑問文のものとは異なっている<sup>19</sup>。例えば、副詞的疑問詞では直接疑問文で用いられていた疑問の接頭辞が異なるものを用いる。また代名詞的疑問詞では疑問を表す接尾辞が用いられずに関係代名詞的な非定形によって従属節の述部を形成する。以下では主節に動詞 a-dér-ra "to know" の肯定形あるいは否定形を用いて、間接疑問文を検討してみる。アプハズ語は英語のような「時制の一致」の現象を知らない（訳はそれを知らないロシア語も併記する）。

##### 4-5-1. "I know what / who ..." の間接疑問文の形態

代名詞的疑問詞を用いる間接疑問文は、疑問の接尾辞を用いずに、関係代名詞的な形によってつくられる。例えば、á-q'a-c'a-ra "to do, to make" を使った "what" の直接疑問文 (41) と間接疑問文 (42) はそれぞれ次のようである（時制はアオリスト）：

- (41) jé-q'a-l-c'e-j ? (< jé-q'a-l-c'a-ø-j )  
 Rel.-PREV-she-do-(AOR)-Qu.  
 "what did she do ? "
- (42) Jacó    bará    jé-q'a-b-c'a-ø-z            ø-z-dér-we-jt'. (< \*jə-z-dér-wa-jt' )  
 yesterday you (f.) Rel.-PREV-you (f.)-do-(AOR)-Class 2. (that)-I-know-DYN-Fin.  
 " I know what you (f.) did yesterday. " " Я знаю, что ты сделала вчера. "

上の例文 (42) の従属節の jé-q'a-b-c'a-ø-z の形は不定過去 past indefinite の非定形であり、インフォーマントに抛れば、(41) のような接尾辞 -j をもつ動詞形をここに用いることはできないという。即ち、間接疑問文は、「昨日、あなたが行ったそのことを私は知っている」として解釈できる。

直接疑問文が動態動詞クラス 2 に属する未完了の場合には、接尾辞 -j が無いために、間接疑問文と形態上は同じになる。しかしこれも上の例から類推できるように疑問文でない未完了 imperfect の非定形と見なし得るであろう。次の例を参照：

<sup>19</sup>アプハズ語は直接話法を使って、被伝達部を直接疑問文にすることも可能である。その場合には、被伝達部の後ろに日本語の「...と」に類似した話法の小辞 h<sup>w</sup>a (cf. a-h<sup>w</sup>a-ra "to say" ) を置く：Bará b-abá-nxo-j ?, h<sup>w</sup>a sará d-sə-zc'áa-jt' Amra. [you (f.) you-where-live-DYN-Qu., speech-particle I she-to me-ask-(AOR)-Fin. Amra.] (Amra said to me, "Where do you (f.) live ?").

(43) jǎ-q'a-l-c'o-z ? (< jǎ-q'a-l-c'a-wa-z )  
 Rel.-PREV-she-do-DYN-Class.2.  
 " what was she doing ? "

(44) Jacǎ barǎ jǎ-q'a-b-c'o-z (< jǎ-q'a-b-c'a-wa-z )      ø-sǎ-z-dǎr-wa-m.  
 yesterday you (f.) Rel.-PREV-you (f.)-do-DYN-Class 2.      (that)-me-POTEN-know-DYN-NEG.  
 " I don't know what you (f.) were doing yesterday. " Я не знаю, что ты делала вчера. "

"who" の直接疑問文と間接疑問文の関係もまた上の場合と同じである。直接疑問文で用いられている接尾辞 -da (4-1を参照) は、間接疑問文では用いられず、全ての機能は関係代名詞的な形によって伝えられる。次の á-ta-ra "to give" を使った直接疑問文と間接疑問文 (アオリスト) を参照 :

(45) A-šwq'wǎ      ø-zǎ-l-tǎ-da ? (< \*j-zǎ-l-tǎ-ø-da )  
 the-book      (it)-Rel.-she-give-(AOR)-Qu.  
 " To whom did she give the book ? "

(46) A-šwq'wǎ      ø-zǎ-l-tǎ-z (< \*j-zǎ-l-tǎ-ø-z )      ø-sǎ-z-dǎr-wa-m.  
 the-book      (it)-Rel.-she-give-(AOR)-Class 2.      (that)-me-POTEN-know-DYN-NEG.  
 " I don't know who she gave the book to. " Я не знаю, кому она дала книгу. "

上の例文 (46) の従属節の ø-zǎ-l-tǎ-z は不定過去・非定形であるが、インフォーマントに抛ればこの形を (45) の例文にある ø-zǎ-l-tǎ-da にすることはできない、という。

動詞複合体に疑問の接頭辞を含めないで疑問詞を用いる場合には、疑問詞はそのまま残る。次の dǎrban "who ?" を用いた例を参照 :

(47) Barǎ b-y'ǎza      dǎrban      ø-sǎ-z-dǎr-wa-m.  
 you (f.) your-friend      who      (that)-me-POTEN-know-DYN-NEG.  
 " I don't know who your friend is. " Я не знаю, кто твоя подруга. "

同様に "whose ?" の疑問文も間接疑問文では接尾辞 -da のない非定形が使われる。例 (16) の Arǎj a-šwq'wǎ ø-z-t'ǎ-da ? " Whose book is this ?" の間接疑問文は、次のようである :

(48) Arǎj a-šwq'wǎ      ø-z-t'ǎ-w      ø-sǎ-z-dǎr-wa-m.  
 this the-book      (it)-Rel.-belong to-Non.Fin.      (that)-me-POTEN-know-DYN-NEG.  
 " I don't know whose book this is. "

#### 4-5-2. その他の間接疑問文の形態

"yes-no" 疑問文を間接疑問文にするには、疑問の接尾辞 -ma を取り、肯定形と否定形を含んだ非定形語幹を用いる。次の直接疑問文 (49) とその間接疑問文 (現在形) (50) の例を参照 :

(49) Asǎbš'a-č'ǎ      bǎ-psǎ      ø-b-šǎ-ma ? (< b-ša-wa-ma )

Saturday-on                      your (f.)-soul                      (it)-you-rest-DYN-Qu.

“ Do you (f.) take a rest on Saturday ? “

(50) Asábs̃²a-č̃²nə      bə-psə                      ø-b-šó-j-bə-m-šó (< ø-b-ša-wa-j-bə-m-ša-wa)

Saturday-on      your (f.)-soul      (it)-you-rest-DYN-it-you-NEG-rest-DYN

ø-sə-z-dér-wa-m. (cf. a-ps-šá-ra "to take a rest")

(that)-me-POTEN-know-DYN-NEG

“ I don't know whether you (f.) take a rest on Saturday or not. “

しかしインフォーマントに拠れば、アオリスト形の間接疑問文には非定形語幹に疑問の接尾辞と思える -w を附加している (4-3参照)。その例を参照：

(51) A-š̃²q'wə                      ø-l-y'wə-ø-ma ?  
the-letter                      (it)-she-write-(AOR)-Qu.

“ Did she write the letter ? “

(52) A-š̃²q'wə      ø-l-y'wə-ø-w-j-lə-m-y'wə-ø-w                      ø-sə-z-dér-wa-m.  
the-letter (it)-she-write-(AOR)-Qu-it-she-NEG-write-(AOR)-Qu. (that)-me-POTEN-know-DYN-NEG

“ I don't know whether she wrote the letter or not. “

”where ? “(「どこへ」あるいは「どこで」)の間接疑問文は、直接疑問文に用いられている接頭辞 -aba- を -ax̃- に替え、動詞語幹を非定形語幹にする (4-4-1 参照)。接頭辞の位置はコラム 1 の直後に置かれる。例えば、アオリスト形の d-abá-ce-j ? (<d-abá-ca-ø-j ?) “where did (s)he go ? “の間接疑問文は、以下のように直接疑問形を不定過去・非定形に替えてつくられる：

(53) D-ax̃-cá-ø-z                      ø-sə-z-dér-wa-m.  
(s)he-where-go-(AOR)-Class 2.                      (that)-me-POTEN-know-DYN-NEG

“ I don't know where (s)he went. “

さらに「どこで」の意味を表す jacə d-abá-q'a-z “where was (s)he yesterday ?”の間接疑問文も同様に接頭辞 -ax̃- を用いて表現する。その例を参照：

(54) Jacə                      d-ax̃-ə-q'a-z                      ø-sə-z-dér-wa-m.  
yesterday                      (s)he-where-be-Past.Non.Fin.                      (that)-me-POTEN-know-DYN-NEG

“ I don't know where (s)he was yesterday.”

この動詞複合体の中の接頭辞 -ax̃- は、「(彼女が出かけた・彼女がいた) ところの場所」という場所を表す関係副詞的な機能をもっているものと思われる (英語の関係副詞 where を比較参照)。このことは従属部分が疑問文ではない、同じ接頭辞 -ax̃- をもつ文によっても確かめることができる。次の文を比較されたい：

(55) Nas      s-ánə-j                      saré-j      á-fat'w                      ø-ax̃-ə-r-tej-wa-z

Then my-mother-and I-and the-food (it)-(the place) where-they-sell-DYN-Class 2.  
 h-ne-jt' (< \*h-na-j-φ-jt' )  
 we-PREV (thither)-go to-(AOR)-Fin.  
 " Then my mother and I went to where they were selling the food."

"whence ?" 「どこから」の疑問文も上の "where ?" と同様に、接頭辞 abant'wəj- を ax̃ənt'wəj- に替える。(34) b-abá=nt'wəj áa-j ? " where did you (f.) come ? " の間接疑問文は、次のようである :

(56) b-ax̃ə=nt'wəj áa-φ-z φ-sə-z-dér-wa-m.  
 you (f.)-where=from come-(AOR)-Class 2. (that)-me-POTEN-know-DYN-NEG  
 " I don't know where you (f.) came."

" when ? " の間接疑問文は、直接疑問文に用いられる接頭辞 -anba- を -an- に替えて<sup>20</sup>、動詞語幹を非定形にする (4-4-2参照) . b-anbá-gəlo-(j) ? " when do you (f.) get up ? " の間接疑問文は、次のようになる :

(57) Bará šəžlá b-an-gálo φ-z-dérə-rc s-taxé-wp'.  
 you (f.) in the morning you-when-get up-DYN (it)-I-know-in order to I-want-STAT.PRES  
 " I want to know when you (f.) get up in the morning. "

" how ? " の間接疑問文は、直接疑問文に用いられている接頭辞 -š'pa- を -š'ə- に替え、動詞語幹を非定形にする (4-4-4 参照) . 例えば、例文 (31) Á-mš' φ-š'ə-po-w-xə-w-ge-j ? " How did you spend the day ? " の間接疑問文は以下である (時制はアオリストから不定過去に替わる) :

(58) Á-mš' φ-š'ə-w-xə-w-ga-φ-z s-a-lac'áz'w-o-jt'.  
 the-day (it)-how-you (m.)-self-you (m.)-take-(AOR)-Class 2. I-that-talk about-DYN-Fin.  
 " I talk about how you (m.) spent the day. "

この接頭辞 -š'ə- の位置は、直接疑問文の接頭辞の位置と同じくコラム 1 の直後にある。それは、例えば、自動詞 á-px'a-ra "to read" の不完了形によって分かる :

(59) Sará a-š'wq'wə s-š'ə-á-px̃'o-z (< s-š'ə-á-px̃'a-wa-z) s-a-lac'áz'w-o-jt'.  
 I the-book I (C1)-how-it (C2)-read-DYN-Class 2. I-that-talk-about-DYN-Fin.  
 " I talk about how I was reading the book."

(2003年1月成稿)

<sup>20</sup>この接頭辞 -an- はまた従位接続詞 (「である時」) としても用いられる。この場合も動詞語幹は非定形である。次の例を参照 : A-š'wq'wə s-an-á-px̃'o s-án d-wantó-jt'. [the-book I-when-it-read-DYN my-mother she-iron-DYN-Fin.] " When I am reading the book, my mother is ironing. "

#### 参考文献

- Аристава Ш. К. и др. *Грамматика абхазского языка : фонетика и морфология*. Сухуми. 1968.  
Генко А. Н. *Абхазско-русский словарь*. Сухуми. 1998.  
Шьякрыл К. С., Концъариа В. Х. *Аҧсуа бызшәа ажьәар*. 1. Сухуми. 1986;  
Шьякрыл К. С., Концъариа В. Х., Чкадуа Л. П. *Аҧсуа бызшәа ажьәар*. 2. Сухуми. 1987  
Hewitt, G. *Abkhaz*. Routledge. 1989.  
柳沢民雄「アブハズ語動詞構造概説」, pp. 1-128. :研究代表者 柳沢民雄『ロシア・ソヴィエト言語類型論の研究』, 平成12-平成13年度科学研究費補助金(基盤研究(C)(1))研究成果報告書, No.12610544. 2002年.

#### 略号

- C = Column  
AOR = Aorist  
CAUS = Causative  
Cond. = Conditional  
DYN = Dynamic  
EMPH = Emphasis  
Fin. = Finite  
NEG = Negative  
Non.Fin.= Non-Finite  
OV = Objective Version  
PAST.INDEF = Past Indefinite  
Perf. = Perfect  
PLUPERF = Pluperfect  
POTEN = Potentialis  
PRES = Present  
PREV = Preverb  
Qu. = Question  
Rel. = Relative  
STAT = Stative  
SV = Subjective Version  
f. = feminine  
m.= masculine  
pl. = plural  
sg. = singular  
(s)he = he or she